

通 告 質 問 一 覧 表

(令和8年9月定例市議会)

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	【代表質問】 高梁政志会 12 番 小 林 重 樹	1 株式会社山陽オカムラについて (1) 令和9年6月末をもって工場の閉鎖が決まった株式会社山陽オカムラについて、市は従業員の再就職支援、また、跡地利用について協議をしているのか。また、内容はどのような事柄なのか (2) 市として工場跡地（土地・建物）利用のビジョンを考え、検討しているのか (3) 市民にとって、この土地は大変愛着のある重要な場所であることを市長は理解しているのか 2 高梁市図書館について (1) 2017年2月に開館して10年になる高梁市図書館であるが、10年間の総括を問う (2) 令和9年3月末をもって指定管理者の期間が終了するが、市は新たな指定管理に向け、CCCとの間で協議が進んでいるのか (3) 市は指定管理者である高梁市図書館を運営するCCCをどう評価しているのか 3 市長の施政方針及び施策について (1) 就任して2年、前半の振り返りがくるが、2年間の総括と反省はどのようなものがあるのか (2) 後半2年間に対する重点目標と施策はどのような事柄を考えているのか
2	2 番 前 野 洋 行	1 石田市長の市政運営について (1) 市長就任後、約2年間の市政運営を振り返って、これまでの取組、評価、今後の展望について、どのように考えられているのか。総合計画の施策体系に沿って問う ① 子育て支援について ② 健康づくり、介護・医療について ③ 障害者、高齢者及び地域福祉対策について ④ 移住・定住、関係人口、シティプロモーション、協働について ⑤ 教育体制について ⑥ 生涯学習、文化・スポーツについて ⑦ 人権、多文化共生について ⑧ 農林水産業、商工業について ⑨ 観光について ⑩ 環境保全について ⑪ 生活安全、防犯について ⑫ 都市機能、公共交通、社会インフラについて ⑬ 公聴広報、学園文化都市づくりについて ⑭ 行政運営、デジタル化について

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	8 番 平 松 久 幸	1 相次ぐ職員の不祥事と市役所の体制について (1) 過去の不祥事に対する再発防止策とその検証について問う ① 平成 30 年・令和 5 年の工事代金の未払いの事案を受け、どのような再発防止策を講じ、その効果をどのように検証してきたのか問う ② 前回の再発防止策実施中に今回の事件が発生したことについて、どう認識しているのか ③ 今回の収賄事件は、特別委員会の調査期間中に発生していたと認識しているが、市はその事実をどのように受け止めているのか ④ 前回は再発防止策として、職員全員に意見聴取を行ったのかどうかを問う (2) 既存の再発防止策で不祥事を防げなかった原因について問う ① 再発防止策を講じたにもかかわらず、新たな不祥事を防げなかった原因はどのように分析しているのか (3) 今回の事件を踏まえた再発防止策について問う (4) 職責を十分に果たさず、本来行うべき業務の処理を怠り、他人に押しつける等、勤務懈怠の状況がしばしば見られる場合、降格人事等、厳重な処分を下すべきと考えるがどうか (5) 市の信頼回復に向けた市長のリーダーシップについて問う 2 高梁市行財政改革強化集中プランについて (1) 強化集中プランの進捗と改革の目的について問う ① 現時点での取組と効果額はいくらか ② 5 億円の目標達成に向けた課題は何か ③ 市長が考える 3 年間の改革の成果はどうか (2) 令和 11 年度以降の財政運営について問う ① 令和 11 年度以降の財政見通しはどうか ② 強化集中プラン終了後の行財政改革はどうか (3) 人口減少を踏まえた行政サービスの選択と集中について問う ① 事業整理の判断基準は何か ② 今後も維持すべき行政サービスは何か ③ 廃止・縮小・民間移管の考え方について問う (4) 職員減少を前提とした行政組織・業務の再構築について問う ① 今後の職員数の見通しを問う ② 職員数に応じた業務量の削減はどうか ③ DX・AI や民間委託の導入の考え方はどうか 3 株式会社山陽オカムラ操業停止後の雇用・地域経済対策について (1) 従業員の再就職状況について問う ① 公表から現在まで再就職した従業員はどの程度いるのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	8 番 平 松 久 幸	② 市として把握している課題は何か (2) 関係機関と連携した雇用支援について問う ① ハローワークなど関係機関との連携状況はどうか ② 関係機関からの求人状況の提供や就職相談など具体的にどのような支援を行っているのか ③ 市として、市内企業との雇用マッチングなど働きかけなどあるのか (3) 操業停止後の跡地・施設の活用について問う ① 現在、跡地や施設の活用について問合せはあるのか ② 市として跡地活用についてどのように関与していくのか ③ 雇用の維持・創出につながる企業誘致の可能性について、どのように情報共有を図っているのか (4) 操業停止後を見据えた会社との情報共有について問う ① 市として操業停止後も一定期間、会社・県・ハローワーク等との連携を図っていくのか 4 今後のハイランド公園の活用について (1) 改修の目的を問う (2) どのような展開を想定して、現時点で予算額を考えているのか (3) 既存の大型複合遊具は再利用するのか (4) サウンディング型市場調査に、市としての意向・方向性をどのように反映し進めたのか。また、調査結果はいつ公表するのか (5) 地域活性化への期待が大きい施設であるが、隣接する施設や観光拠点としての役割について今後どのように考えているのかを問う
4	6 番 長 田 伸 彦	1 市役所職員に関する 2 件の事案を受けた組織運営上の課題と今後の対応について (1) 加重収賄罪及び有印公文書偽造罪等で職員が起訴された事案について、不当・過度な要求等に対する組織的対応は十分であったのか (2) 多数の不適切な事務処理が確認された事案について、個人の問題にとどまらず組織的な原因まで検証できているのか (3) 職員同士が問題を早期に相談・共有し、組織として解決する体制は機能しているのか 2 成羽病院と持続可能な地域医療について (1) 経営改善の取組について、開始から現在までの進捗と成果をどう評価しているのか (2) 経営改善を進めた場合に、現金預金は今後どのように推移すると見込んでいるのか (3) 病院事業への一般会計繰入れが増加した場合、市の財政にどのような影響が生じるのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
4	6 番 長 田 伸 彦	(4) 成羽病院及び診療所群を含む地域医療提供体制の将来像を、市長はどのように考えているのか 3 「森の芸術祭 晴れの国・岡山 2027」を契機とした観光・地域経済振興について (1) 森の芸術祭を通じて、本市にどのような成果を残そうとしているのか (2) 森の芸術祭を地域経済への効果につなげる推進体制は整っているのか (3) 森の芸術祭を成功させるため、市長自身はどのように推進力を発揮するのか 4 災害時における障害のある児童・生徒の避難支援について (1) 障害のある児童・生徒が、災害時に通い慣れた特別支援学校へ直接避難できる体制を整えるため、県立倉敷まきび支援学校との福祉避難所の指定等に向けた協議・連携を進めてはどうか 5 福祉の助けが必要で困っている人が身近な場所で相談ができる体制について (1) 市内薬局を活用した高齢者や要相談者からの市への相談・支援に対するつなぎについて
5	4 番 藤 岡 善 行	1 株式会社山陽オカムラの解散・操業停止への対応はどうか (1) 解散による本市と市民への影響と課題について (2) 本件の市の担当部署はどこになるのか (3) 従業員の生活保障・再就職問題について (4) 操業停止後の跡地・建物の利活用・企業誘致について 2 園・中学校の給食費無償化について (1) 園・中学校の給食費無償化の必要性について (2) 本市単独で「計画的・年次的に無償化」にすべきではないか (3) 制度創設を市から政府に対して要請すべきではないか 3 農業振興への支援の具体的で有効な施策について (1) 「農業は市の基幹産業」の姿勢を堅持すべきではないか (2) 中山間地域における「家族的小規模農家・農業が継続できるまちづくり」について (3) 主要農産物への価格補償的な支援について (4) 担い手育成へ思い切った「奨励」制度を創設すべきではないか (5) 鳥獣被害から農作物を守る対策の充実について (6) 政府に対して農業振興について積極的な要請をすべきではないか 4 小・中学校体育館へのエアコン設置について (1) エアコン設置の具体的計画を問う 5 「非核平和都市宣言」のまちにふさわしい行政施策について (1) 市は「国是の非核三原則堅持」を表明し、政府にも要請すべきではないか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
5	4 番 藤 岡 善 行	(2) 核兵器禁止条約への参加を政府へ要請をすべきではないか (3) 「予備自衛官等兼業特例法」に対する市の見解について問う
6	5 番 小 黒 ゆかり	1 パートナースhip宣誓制度について (1) 今年度本市でも導入予定のパートナーシップ宣誓制度について問う ① 県内自治体における宣誓導入の状況について ② 制度を導入するに至った背景、経緯について ③ 制度導入によって期待される効果について ④ 本市における行政サービスの内容について ⑤ 転入、転出時の対応について ⑥ 制度の認定を受けるための要件・手続について 2 商業施設における期日前投票所及び選挙ポスター掲示箇所について (1) 以前実施した商業施設での期日前投票の利用実績について (2) 期日前投票を実施した商業施設での、市民からの反応や課題について (3) 投票結果や市民の意見などを踏まえ、経費や情報管理などの諸課題をどのように検証したのか (4) 市内の2大商業施設のうち、もう1か所でも実施する考えはないか (5) 人口減少や地域の状況を踏まえ、選挙ポスター掲示場の設置個所の見直しについて 3 病児保育・病後児保育について (1) 病後児保育のこれまでの利用状況について (2) 利用したくても利用できないケースの把握について (3) 制度の整備・運営に必要な経費について (4) 病児保育、病後児保育の実施について、現時点での市の考えを問う 4 妊婦健診の再開に向けた環境整備について (1) 市内での妊婦健診再開に向けた環境づくりについて、その後の進捗状況を問う
7	3 番 川 上 雅 美	1 持続可能な地域公共交通の構築について (1) 成羽地域で実証運行を予定している乗合タクシーについて ① 地域公共交通計画に掲げる「交通弱者の移動手段確保」との整合性について ② 通院・買物への対応について ③ 成羽地域での実証運行の結果を市全体へどう生かすのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
7	3 番 川 上 雅 美	2 「行かない窓口」の実現に向けた住民票等コンビニ交付の導入について (1) コンビニ交付の導入時期と、現在の進捗状況について (2) コンビニ交付の対象となる証明書の種類、利用できる時間帯、利用できる店舗について (3) 導入に向けて市民等への周知について ① 高齢者やデジタル機器の操作に不慣れな方に対して、コンビニ交付の利用方法の周知や必要な支援をどのように行っていくのか ② 導入に向けた市民への周知について問う (4) コンビニ交付の導入によって、市役所窓口の業務量や職員の負担をどの程度軽減できると見込んでいるのか (5) 窓口業務の時間短縮を考えているのか (6) 今後、窓口に行かなくても手続きが完結するよう行政サービスを拡充すべきではないか 3 消防力の維持と消防業務のD Xについて (1) 市では消防広域化や通信指令の共同運用などの検討が進められているのか (2) A I、G P Sなどを活用した消防業務のD Xやデジタル化について、現在の取組状況と今後の導入予定について問う (3) 本市の消防力を将来にわたり維持・向上させるため、どのような体制づくりを考えているのか
8	9 番 金 尾 恭 士	1 市職員の不祥事への対応について (1) 今回残念ながら市職員の不祥事2件が明らかになった。これまでの対策と今後の対応について問う ① 2年前の災害復旧事業に係る不適切な事務処理の再発防止策は生かされてきたのか ② 職員研修をこれまで実施してきたとのことであるが、効果をどう把握してきたのか ③ コンプライアンス研修はどのように機能したのか、どのように評価しているのか ④ 職場内の情報共有はどのように行ってきたのか ⑤ 管理職による職員管理やチェック機能は働いていたのか ⑥ 職員倫理の向上を検討する委員会を設置すべきだと考えるが、市の見解を問う ⑦ 平成30年、令和6年の再発防止策が実施されてきたにもかかわらず、防止策が全く機能していなかったのではないかと、市の見解を問う ⑧ 人材育成、職員教育を早急に行うべきと考えるが、どのような取組を考えているのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
8	9 番 金 尾 恭 士	⑨ 今回の不祥事を受けて、暫定的・恒久的な再発防止策をどのように考えているのか 2 教育について (1) 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて、市教委の評価と今後の対策を問う ① 令和 8 年度小学校 6 年生の正答率が国語 58%、算数 50%、中学校 3 年生の正答率が国語 64%、数学 58%、英語の I R T スコア 475～484 であった。どのような分析を行っているのか ② 市は学力の分析を経年的に行っているのか ③ 小学校国語「論理的に組み立てて書く力」、小学校算数「体積、割合」等、基礎的な部分が低い傾向にあるとの指摘があった。どのように改善していくのか ④ 基礎基本の徹底、市教委の学校への指導をどのように行っていくのか、市の見解を問う (2) 次期学習指導要領改訂について問う ① 2030 年度小学校の次期学習指導要領改訂により、「紙のみ、完全デジタル、ハイブリッド」の 3 種類から教科書の選択が行われる。市の現在の考えを問う (3) 全国とのオンライン学習の交流について問う ① 広島大学、東広島市教育委員会では、デジタル技術を活用して存続が危ぶまれる「小規模校の教育の質」について研究が進められている。東広島市の小規模中学校 4 校、北海道の中学校 1 校、計 5 校、90 人でオンラインで学習交流している。市内の中学校も参加し、多様な交流をしてはどうかと考えるが、市の見解を問う (4) 学校図書館図書購入費について問う ① 令和 8 年度予算は小学校 160 万円、中学校 139 万円である。令和 7 年度予算は小学校 434 万円、中学校 260 万円であったが、大幅な削減の理由を問う ② 国の地方交付税による蔵書整備費 199 億円となっているが、市に交付されている整備費はいくらなのか。また、新聞の購入費は交付税措置 38 億円で、小学校 2 紙、中学校 3 紙となっているが、市にはいくら交付税措置されているのかを問う。 ③ 読解力の基礎となる読書は、教育の中で重要な位置を占めている。今一度取り組む必要があると考えるが、市の見解を問う ④ 学校司書の拡充に対する交付税措置 243 億円となっている。市の学校司書の待遇改善は行われているのか、交付税措置での活用はどうか 3 災害対策について (1) 令和 8 年熊本地震、令和 8 年 8 月千葉豪雨で甚大な被害があり、尊い命が犠牲となった。本市における災害対策を問う ① 市として、今災害が起きたときに、どのような対応ができるのか。即応体制はできているのか ② T K B 4 8 (トイレ、キッチン、ベッド) は可能であるのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
8	9 番 金 尾 恭 士	③ スフィア基準、特にトイレの男女比、プライバシーの確保、居住スペースの確保について、どのように実行できるのかを問う ④ 避難所に避難せずに、車中避難や被災した自宅での在宅避難が多数想定されるが、避難者の把握について市の見解を問う ⑤ 要支援者のリストアップの迅速化が求められるが、市の見解を問う ⑥ 夏場、冬場の被災マニュアルの2種類を考えておく必要があるが、市の考えを問う ⑦ 令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨で、本市の災害備蓄の見直しをする必要があると考えるが、市の見解を問う ⑧ 防災庁が11月に発足の予定である。国、県と連携した災害対応のために、市もプロパー職員の育成が求められているが、市の見解を問う ⑨ 避難所ともなる体育館へのエアコン設置について問う
9	11 番 宮 田 好 夫	1 不要な公共施設の除去について (1) 高梁幼稚園、高梁南幼稚園、高梁保育園は、来年度解体予定と聞くが、具体的にどう進めているのか (2) 解体事業の財源確保はできているのか (3) 施設除去後の跡地活用は、どう考えているのか (4) 施設に残されている備品を地域で有効活用できないか 2 高梁北中学校の統合について (1) 高梁北中学校の統合については、再編準備委員会で具体的な話がなされているが、順調に進んでいるのか (2) 前回通学手段について質問したが、どのような対応を考えているのか 3 市内企業の事業所解散について (1) 市内の金属製家具製造業の事業所が来年6月末をもって解散が決定したと報道された。このことについて市はどのように受け止めているのか (2) この会社には100名以上の社員が所属している。会社としての雇用対策は行われるようだが、市としても何らかの対応をすべきではないのか (3) この会社には多くの有資格者がいる。また社員は製造業で培われた高い技術を持っている。こうした優秀な人材を市内で生かせる方策を考えるべきではないか
10	1 番 榎 隆 宏	1 公共交通について (1) 市が運行している川上・備中地域の乗合タクシーは市街地へは乗り入れていない。特に川上地域の乗合タクシーは成羽地域にも乗り入れていないため、成羽地域・市街地へ行くにはバスへの乗り換えが必要であり、高齢者にとって大きな負担となっているが、この問題をどのように認識しているのか (2) 市の公共交通サービスは近隣他市町の公共交通サービスと比較

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
10	1 番 榎 隆 宏	するとあまりにも貧弱すぎると考える。なぜ、サービスが向上できないのか 2 若者・女性の雇用対策について (1) 人口減少の最大要因は、進学・就職を機とした若者世代の転出超過であり、その対策の核心は魅力ある雇用の確保にあると考える。総合計画にも課題として明記されているが、雇用対策に係る現状の予算はかなり少額であり、効果は薄いと思うが、市はこの現状をどう評価しているのか (2) 若者の雇用の確保、特に女性向けの雇用確保のために、予算の拡充を含めて抜本的に取組を強化していく考えはあるか 3 市長就任 2 年の総括について (1) 就任時の所信表明では、①市民の声に真摯に耳を傾けること、②行政組織・職員の意識改革に取り組み、市民サービスを向上させること、③財政を見直し、持続可能な市民サービスを提供すること、④市民が幸せを実感できるまちをつくること、という 4 つの基本姿勢が掲げられた。就任 2 年が経過するにあたり、これらの取組をどのように自己評価しているか (2) 今後 2 年間で、具体的に何を柱に施策を展開しようと考えているのか
11	7 番 松 岡 隆 雄	1 選挙事務と投票環境について (1) 過去の選挙事務の総括と課題について (2) 投票所・投票機会の確保について (3) 期日前投票・移動期日前投票について (4) 投票立会人等の人材確保について (5) 選挙経費・ポスター掲示場の効率化について (6) 持続可能な選挙事務について 2 中学校の部活動地域展開について (1) 生徒の活動機会の確保について (2) 保護者の経済的負担と移動・送迎負担について (3) 指導者の確保について (4) 中学校教員と地域クラブとの連携について (5) 先を見据えた地域展開後の検証と今後の方向性について
12	10 番 森 和 之	1 成羽病院について (1) コンサルティングで示された経営改善策は、令和 7 年度成羽病院事業会計決算の数値に現れているか。目標値と乖離していないか (2) 引き続き経営改善に取り組むのは当然であるが、不採算部門についてはどう取り組むのか (3) 今回の決算を市長はどう受け止めているのか 2 公共施設について (1) 市外利用者の料金が市内在住者と同じである現状を見直して、市外料金を導入すべきではないか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
12	10 番 森 和 之	(2) 本市では指定管理者制度により一定の施設を指定管理にしている。毎年、指定管理者から報告を受けていると思うが、現場の維持管理状況を市が把握できる仕組みになっているのか 3 備中高梁駅前の放置自転車について (1) 放置自転車は著しく景観を損ねるものである。放置自転車の処分について本市の取組を問う 4 小・中学校の環境整備について (1) 小学校、中学校において、校舎以外の環境整備について本市の考えを問う 5 小・中学校のプールについて (1) 近年の猛暑によりプールを使用できないケースが生じている。水泳などプールを使った授業を欠かさないためにも、安価な屋根の設置を考えられないか